



Shikoku
Cancer Center News
No.67

四国がんセンター ニュース



日本医療機能評価機構
認定第JC1324-3号

2019
4
APRIL

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(西条市 石鎚パーキングエリア 撮影: 俊野 健治)

献血 (Blood donation) ひとつの社会貢献

皆さんは、献血に行ったことはありませんか？様々な医療技術が発達した今でも、輸血でしか救えない病気や病状があります。ご存知でしょうが、血液は赤血球や白血球・血小板といった細胞の成分と、栄養分・免疫に関係する様々な液体の成分から成り立っています。現在様々な薬の開発が進んでいますが、いまだに血液の代わりになる薬剤の開発はほとんどなされていません。そのため、病気や抗がん剤治療・手術によって血液そのものや血液のある成分が少なくなった際には、色んな血液成分の輸血が必要になります。そして血液の成分ごとに体内で作られる速さが異なります。手術や抗がん剤治療などによる急な事態には不足を補う必要がありますが、現在の医学でも血液の働きをちゃんと補う薬剤はないため、不足する成分を補う輸血が必要になります。その輸血は献血によって供給されていますが、一度採血した血液は保存法を工夫しても、赤血球製剤で3週間、血小板では4日間の使用期限しかありま

せん。現在国内で輸血として使われる血液は年間延べ480万回の献血でほぼ100%供給できていますが、今後の人口構成の変化等により、現状ではこれから10年以内に明らかに不足すると予想されています。特に40歳までの若い方々の供血量数はここ10年で2/3に減っており深刻な問題になりつつあります。

私事ですが、学生時代に親友を白血病で亡くしたことが献血に行くきっかけでした。友人と同じ血液型であり、骨髄移植ドナーになって少しでも役に立てばとの思いでドナー登録しましたが、私にドナーとしての役割は回ってはいませんでした。そんなことから始めた献血ですが、今では少し趣味のようにもなっており献血も100回を超えました。これからも使わせていただく血液を少しでもお返しできたらとの思いと、わずがばかりの社会貢献と自己満足のために(年齢の限度は69歳まで)献血に協力したいと思っています。

今回水泳の池江選手の白血病の公表を

きっかけに、献血や骨髄ドナー登録に関して脚光が当たっております。今では、白血病の治療法や治療薬が大きく変わり、治療成績も飛躍的に良くなっており、ちゃんと治療し再び大活躍できることを期待しています。医療者である私達にできることは、がんなどの病気が輸血の必要が少ない早期発見に努めること、不測の輸血を少なくすること、そして私達自身や社会の献血意識を高め献血に協力することではないでしょうか。献血は痛いからいや！とか、血を見るのが嫌い、という意見も時々耳にします。しかし、それ以上につらい病気と闘っている人がたくさんいらっしゃいます。また献血で自分自身の健康状態もチェックでき、身近で社会貢献できる方法だと思っています。もしよかつたら一緒に献血に行きませんか。



(副院長 山下 素弘)

四国がんセンターの理念

患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

■基本方針

- ①患者さんの権利と尊厳を守る診療・看護を実践します。
- ②がん基幹医療施設として全国及び地域の医療施設と連携した最新の医療を実施します。
- ③がん克服に向けた予防・診断・治療の研究を推進します。
- ④最新のがん医療の普及を目指した教育・研修を実践します。
- ⑤がんに関する医療情報の収集と国内外への発信に努めます。
- ⑥健全な病院経営、持続的な意識改革を実行することにより、患者さんにはかかって良かったと思われる病院、職員には働いて良かったと思われる病院を目指します。

看護部の理念

私たちは専門職としての誇りと責任をもち、**がんと共に生きる人を支える最良のがん看護を提供します。**

■基本方針

- ①患者さんのQOL向上をめざした看護を実践します。
- ②がん看護の専門家として、チーム医療に参画します。
- ③がんとともに生きる人をサポートするシステムをつくりまします。
- ④専門職として研鑽を重ね、がん看護の指導的役割を担います。
- ⑤患者サービスの向上に向け病院運営に参画します。

患者さんの権利とお願い

■患者さんの権利

- ①**良質かつ適切な医療を受ける権利**
個人の人格が尊重され、科学と信頼に基づいた診療を受けることができます。
- ②**「説明と納得」のもとに医療を選択する権利**
病状や治療法に関する情報の提供と納得いく説明を受け、検査・治療法について自ら選択あるいは拒否することができます。
- ③**自己の診療記録に関する情報開示を求める権利**
自己の診療記録の情報開示を求めることができます。
- ④**個人情報保護される権利**
診療上得られた患者及び家族の個人情報は、法律上あるいは治療上の正当な事由のある場合を除き厳正に保護されます。
- ⑤**セカンドオピニオン制度を利用する権利**
主治医より受けた診断、治療方法について他の医療機関の専門家に意見を求めることができます。

■お願い

- ①自己の病状や健康に関する正確な情報を医療従事者にお伝えください。
- ②よりよい療養環境を維持するために病院の規則ならびに医療従事者からの指示をお守りください。厳守されない場合には診療や療養を継続することができなくなることがあります。
- ③患者さんの間でも、お互いの立場やプライバシーを尊重してください。
- ④あらゆる危険を回避するために事故防止にご協力ください。
- ⑤がん医療の発展のために当院での治験、臨床試験等の臨床研究・教育・研修にご協力ください。
- ⑥当院は独立採算制をとっています。病院の運営維持のために診療費は確実にお支払いください。



がん治療 最前線

免疫チェックポイント阻害剤

がん細胞は体内の異物と判断され、自身の免疫細胞「T細胞」の攻撃を受け排除される機構があることがわかっています。その一方、T細胞に「自分は敵ではない」と認識させて攻撃にブレーキをかけさせる免疫チェックポイントという機構が働くこともわかっています。この機構の一つを京都大学の本所祐先生が発見し、昨年ノーベル賞を受賞され話題となりました。

免疫チェックポイント阻害剤はそのブレーキを外し、T細胞の攻撃を再開・活発化させがん細胞を攻撃させます。現在、悪性黒色腫、肺がんをはじめ多くのがんで有効なことが分かり保険承認されています。また、この薬剤は多くの遺伝子の異常（変異）を伴うがんに対してより効果があることが報告されています。多くの遺伝子の異常がみられる状態のひとつに高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）というものがあります。その頻度は各がん腫の数%ですが、標準的な抗がん剤が無効となった場合にがん腫を問わず免疫チェックポイント阻害剤の効果が期待でき使用できます。

この薬剤に特徴的なのは、効く場合は一般的な抗がん剤に比べ、非常に長期間効く結果が得られていることです。また、従来の抗がん剤に比べて副作用が少ないと報告されていますが、副作用がいつ生じるか予測がつかないため注意が必要です。皮膚、肺、肝・胆・膵、胃腸、腎、神経筋、内分泌、眼など思わぬ部位に副作用が出ることがありますが、早期発見し初期に治療が行えれば症状はコントロール可能です。

（消化器内科医長 仁科 智裕）



診療科紹介⑤ 皮膚科



2018年10月から、皮膚科の外来診療が始まりました。木曜日を除く毎日診察しています。がん専門病院の皮膚科といえば、悪性黒色腫（メラノーマ）などの皮膚がんを治療しているとイメージされるかもしれませんが、当院では皮膚がんの治療を形成・再建・皮膚腫瘍外科が行っています。では、皮膚科は何をしているのでしょうか。

当院の皮膚科のもっとも大きな役割は、がん治療により生じる皮膚障害の診療です。腫瘍を壊したり増殖をとめたりする薬剤では、しばしば皮膚にも障害を生じます。また、最近登場した免疫の働きに影響を与える薬剤は、腫瘍に対する免疫力を増強する一方で、皮膚に新たな病気を起こしたり、治

療前からあった皮膚の病気を悪化させたりすることがあります。

しかし、皮膚科の診療の対象はそれだけではありません。痒みがあったり痛みを伴ったりする皮膚疾患は、日常生活や治療に差し障りを生じます。また、痒みや痛みがなくても、人の目が気になったり、うつすのではないかと心配したり、皮膚がんではないかと思悩むこともあります。湿疹・皮膚炎、じんましん、傷、感染症、髪や爪の異常、腫瘍など、皮膚に生じた症状は、全て皮膚科の診療対象です。がん治療と直接関係がなくても大丈夫ですので、どうぞ気軽に受診してください。

(皮膚科医長 藤山 幹子)



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.43

放射線治療専門放射線技師

放射線治療専門放射線技師は、放射線治療に関する専門的知識・技術を備えた診療放射線技師を認定した者で、当院には私を含め2名の放射線治療専門放射線技師が在籍しています。X線撮影、CT、MRI、PETなどの診断画像を撮影する診療放射線技師とは少し異なり、医師が作成した治療計画に沿って、画像誘導放射線治療（IGRT）という技術を使い、指示された範囲に指示された量を確実に照射する業務を担っています。

また、昨年度より2台の放射線治療装置（リニアック）が更新され、強度変調放射線治療（IMRT/VMAT）、定位放射線治療（SRT/SRS）など、これまで以上に高精度な放射線治療を提供しています。毎日、放射線治療装置の精度試験を実施して、患者さんには安全・安心な放射線治療を受けていただくことができるように、常に高水準な品質管理を行って



います。

当院の放射線治療部門には、放射線治療専門放射線技師のほかにも、放射線治療専門医、医学物理士や放射線治療品質管理士認定の診療放射線技師、がん放射線療法看護師、事務職員が常駐しており、とても充実した放射線治療体制がとれています。

各専門分野での知識・技術が最高の放射線治療に繋がるように職種間で連携・協力しながら高度なチーム医療の実践に取り組んでいますので、気に掛かることや不安に思うことなどがありましたら、些細なことでも遠慮せず気軽にお尋ねください。

(主任診療放射線技師 宮川 敬)



治験 CHIKEN CORNER

ちけん

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。過去に紹介した治験等に関する質問と回答内容は、ホームページの当室コーナー（アドレスを参照）に掲載しています。

(治験主任 峯本 讓)

「当院では治験を実施しています」

●現在募集の治験等情報

右記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験情報」です。

- | | | | | |
|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ●肺がん …………… 21件 | ●胃がん …………… 8件 | ●前立腺がん …………… 3件 | ●卵巣がん …………… 9件 | ●子宮体がん …………… 2件 |
| ●悪性胸膜中皮腫 …… 2件 | ●食道がん …………… 3件 | ●膀胱がん …………… 1件 | ●固形がん …………… 3件 | ●子宮頸がん …………… 1件 |
| ●胸腺がん …………… 1件 | ●大腸がん …………… 4件 | ●肝細胞がん …………… 1件 | ●悪性リンパ腫 …… 2件 | (平成31年2月28日現在) |
| ●乳がん …………… 12件 | ●膵がん …………… 1件 | ●尿路上皮がん …… 4件 | ●子宮癌肉腫 …………… 1件 | |



お世話になって医ます

福田医院

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、さまざまなご意見をご紹介します。

福田医院



今回は西条市丹原町で開業されている福田正彦先生を訪問しました。院長の福田正彦先生は、平成3年に慶應義塾大学を卒業され消化器内科学教室に入局されていましたが、平成12年にお父様が開業されていた福田医院に帰ってこられ、後を継がれておられます。

月曜日と金曜日の14時から16時は訪問診療をされています。現在、訪問診療で20人弱の患者さんを診ているそうです。それ以外に老人保健施設（50人入所）、サービス付き高齢者住宅（10人入所）も訪問診療されておられ、患者さんのため東奔西走の日々を送っておられます。

クリニックの特徴と診療モットー

地域のプライマリケア医として高血圧、糖尿病、高脂血症等の生活習慣病を中心に診療しております。大学では消化器内科を専攻しておりましたので、クリニックでできる範囲の検査（胃カメラ、エコー、CT）で、がんの早期発見も心がけております。また、地域包括ケアシステムが叫ばれるようになりプライマリケア医として訪問診療にも力を注いでおります。現在、四国がんセンターから多くの緩和ケア症例をご紹介いただき、在宅での看取りを実践しております。

在宅医療について

当地は山間の町で、通院できない高齢の方が多く、こちらへ帰ってきた約20年前より在宅医療を行っております。当初はがん患者さんや看取りの患者さんを診ておりませんでした。四国がんセンターの先生方に少しずつご紹介いただき、ご指導を受けながら緩和ケアを望まれる患者さんを診させていただくようになりました。今では年間約20名ほどの患者さんの看取りをさせていただいております。医師会雑誌の在

宅医療特集号に四国がんセンターの先生方がお書きになった記事に、私が看取りした症例をご紹介させていただいたこともあります。

がんセンターへの要望

地域で緩和ケアを望む患者さんを含め、紹介・逆紹介とも非常にスムーズに連携できておりますので、診療に際し特に要望することはありません。今後も緩和ケアを望む患者さんを診ていく上で、緩和ケア専門の先生方に教えていただきたいことがたくさんあり、いろいろご指導いただければと思います。

趣味

ゴルフです。日曜日は朝から晩までゴルフ場に居るくらいです。ゴルフでコースを回っている途中で、看取りのために往診に呼ばれることもあります。

それでも、自分自身で在宅医療のスタイルを作れば、そんなに自由度がないわけではないです。

西条市は、旧の西条市と周桑郡に分かれており、福田先生は周桑郡を担当しているそうです。在宅医療を行っている医師が2人しかいないそうで、在宅医が増えると福田先生もゆっくり休めるかもしれません。

終始、穏やかな口調でお話され福田先生の人柄がうかがわれ、いろいろな専門医の資格も取得されており、安心して患者さんを紹介できると感じました。これからも、どうぞよろしくお願いたします。

（緩和ケアセンター長 成本 勝広）



成本（左） 福田正彦院長（右）

福田医院

- 住 所：〒791-0502 愛媛県西条市丹原町願連寺278
- 電 話：0898-68-7243
- F A X：0898-68-3326
- 診療科目：内科、消化器科、小児科
- 休 診 日：日曜・祝日



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—	—
9:00~12:00	—	—	—	○	—	○	—	—

（月・金 14:00~16:00 訪問診療）

📧 がんセンターだより

「がん専門病院からのメッセージ ～がんと闘い、共に生きる人を支えたい」発売中

●がん患者さんやご家族・友人の方、これからがんと向き合うことになるかもしれない方へ

四国がんセンターは、最新のがん治療、がんと共に生きる人へのサポート、検診や予防など、がんに関わる幅広い話題をまとめた本を2月に刊行しました。当院の活動や、当院が考えているがん診療の未来について知ってもらうことで、一般論や大都会の話ではなく、愛媛県の皆さんに直接役立つ地元の治療やサポートの情報を伝えることを本書の目的としています。また、がんに今かかってない方も子供から大人まで、がんについて考えるきっかけとして利用していただければ幸いです。

●診断から治療後の生活まで、専門家が分かりやすく執筆

小学校高学年以上を読者層として想定し、幅広い方に興味を持って読んでいただけるよう、コミックやイラストを交え

てわかりやすく書くよう努力しました。しかし、分かりやすいだけでは伝えられないこともあります。大事なところは、がん治療やサポートの第一線で活躍する当センターの専門医やスタッフらがしっかり書き込みました。

●お求めは当院売店、県内大手書店、またはネット書店で1,500円+税

本を売ること自身は目的ではないのですが、できるだけ多くの方にこの本を読んで、私たちが何をできるか、どう地元のがん診療を守っていきたいと思っているか、皆さんが何をもらえるかを知っていただきたいと思います。



医者のつぶやき リレーエッセイ



●第七回 デブの誕生



左の絵を見てもらいたい。絶賛発売中の『がん専門病院からのメッセージ』の表紙だが、2つの特殊な工作が施されている。

一つ目の工作は一番右の人物の頭に、四国がんセンターの妖精・なおる君が載っていることだ。表紙用に撮影した写真をイラストにおこした際、頭部の色調に障害が発生したため、なおる君がそれを隠すために乗ることになったのだ。『何故妖精?』『なおる君って誰?』と言う人は今すぐ、本を

<1,500円税別。当院売店、県内大手書店、ネット書店にて絶賛発売中>

チェック!) それにちなんで、今回用にハゲの話を書いたのだが、『がん専門病院の広報誌ですよ。ボツ』と言われてしまった。そこで代わりにデブの話を書くことにする。

去年の暮れに特定健康指導に引っかかった。良い子なのに何故か捕まってしまった。特定健診では捕虜になったメタボ体型の人のところへ保健師のおねいさんがやってきて個別に健康な人への道を説く。

『飲み会のメラーメンはよくありません。800キロカロリーもあります』

分かりました。メラーメンはやめて、もう一軒呑みます。『痩せましょう。運動しましょう』

私は痩せるつもりだし、運動もしますよ。でも、私の前に指導したあの先生は糖尿病でも高血圧でも薬飲めばなんでも大丈夫って思ってますよ。

『BMIは23にしましょう』

BMIは27が一番長生きですよ。そもそもBMI20前後がベストというのは、健康上の理由ではなくて、戦場に送るなら80kgの人を6人より、60kgの人を8人の方が絶対強いという戦場の論理で決められたんですよ^(*)。

さて、二つ目の工作は一番右の人物の顎周りの脂肪を削ってあごのラインをシャープにしたことだ。人は理由なく太らない。まず心がデブになり、現実を否認し、ボケてみたり、告げ口してみたり、『まだぼっちゃり』と言ってみたり、関係ない話を持ち出してみたりして、最後に体がデブになる。最終的には都合の悪い写真をイラストにしてまで誤魔化すようになる。いや、写真の角度が悪かっただけで、まだ私はデブではないけどね。

ボツ原稿は『逆境が希望を生む』的な良い感じの話の締め方だったのだが、デブの話は締まりがない。表紙の工作した頭とあごを見て毎日反省することにする。この本はメタボにききます^(*)。ダイエットに悩む方は本を買って一緒に毎日眺めましょう。

※諸説あります

(がん予防・疫学研究部長 寺本 典弘)

E V E N T
REPORT

～四国がんセンターパス大会～ 「わかりやすく、使いやすいパスをめざそう」



平成31年1月26日、四国がんセンターにおいて、「わかりやすく、使いやすいパスをめざそう」をテーマに四国がんセンターパス大会が開催されました。

パスとは、クリニカルパスの略で、患者・医療者の日々の目標を組み込んだ診療計画のことです。電子カルテ上の医療者用パスと、患者さんに配布するパンフレット形式の患者用パスが存在し、患者用パスは、日々の診療内容と患者さんの目標が記載されているため、患者さんにとって入院後の自分の診療がどのように進むのわかりやすいという特長があります。四国がんセンターでは、入院患者さんのうち、6割の方をパスを用いて診療しています。

パス大会は公開形式で毎年開催されていますが、今回も例年どおり院外から多くの参加者があり、一般口演、シンポジウム、特別講演の三部構成で行われました。パス大会開始当初の一般口演は、パスの作成・導入が中心でしたが、最近で

は、パスの本来の目的である医療の質改善活動の発表へと発表内容レベルが上がってきています。シンポジウムは、四国がんセンタークリニカルパス推進委員会で行っているグループ活動の発表でした。このグループ活動は、パス委員自らが院内パス活動における課題を考え解決してゆくという能動的な活動で、私がパス委員長に就任した4年前に開始してから、毎年成果を出してくれています。特別講演は、徳島大学の若田好史先生に「医療の質改善につながるパス分析」と題して、パスを使う目的とパスデータの活用について、大変わかりやすく講演いただき、終了後アンケートでも非常に高い満足度でした。

近年、ビッグデータの活用が注目を浴びており、医療界においても期待されています。しかし、現状では、電子カルテメーカーが異なると医療データの比較や統合ができません。そこで、電子カルテメーカーの垣根を越えてデータを利活用できる仕組みを作る日本初の研究が始まり、四国がんセンターも参加しています。パスを用いて診療した患者さんのデータは、カルテ内の単なる文字情報とは異なり、あらかじめ設定された診療計画に基づいて記録されているため、解析の対象データとして最適です。今後、パスの発展を通じて、医療データ利活用の推進、新たな医療知見の創出、医療AIの開発などにつながればと夢を思いめぐらせています。

(消化器外科医長 羽藤 慎二)

愛される食事づくりを。 ～暖だんお助けキッチン～

2月19日に暖だんお助けキッチンを開催しました。「抗がん剤治療中の方のためのレシピ紹介と食事相談」をテーマに、キッチンコーナーをお借りして、調理のデモンストレーションを実施しました。

抗がん剤(化学療法)による「手指のしびれ」などの症状から、包丁が握りづらいといった料理をする人にとって困った症状に対

応できるよう、「キッチンばさみ」と「ピーラー」を用いた調理の実演としました。“手軽に作れる”を意識してメニューの提案をさせていただきましたが、「臭い」への課題や「洋食のメニューが知りたい」といった意見もあり、次のテーマが見えてきました。これからも皆様のお役に立てるよう、今後も継続して開催していきたいと考えております。ぜひ皆様のご希望をお知らせください。

(栄養管理室長 鎌田 裕子)

紹介したメニュー

- ・もち麦ご飯
- ・豆腐のもちもち磯辺焼き
- ・サラダチキンのゆかり大葉ごま和え
- ・ピーラーでサラダ



治療中の働き方に関する相談を実施しています!

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～平成31年2月



四国がんセンターは、がん患者さんの“働きたい!”をサポートしています。お気軽に、スタッフまでお声掛けください。

ちりょうさ

厚生労働省「治療と仕事の両立支援」キャラクター

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 207人 就職延べ件数 56件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 44件

相談者の声

- 「病院で仕事の相談ができると思わなかった」
- 「話ができ、気持ちが楽になった」
- 「病気になった私でも、できる事があると思えた」

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュースと選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』(月刊誌)へ掲載します。

選者：三瀬あき(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



松山や電車そろりと朧月

(与太郎さん 75歳・男性)

上に「松山や」と来て電車とくれば路面電車が浮かび、城とは書いてありませんが松山城もみえてくる気がします。月はきっと、城の背景に浮かんでいるのでしょうか。「そろりと」がいいですね。ここでは電車と朧月両方がかかります。速くも、激しくもなく、そろりと動くところが、松山らしいなあ、と納得しました。単に「月」といえば、一番きれいに見えることから秋の月をさします。掲句の「朧月」は朧に霞んだ柔らかい春の月です。



点滴の光るしづくに冬の月

(K.Mさん 69歳・男性)

点滴のぼたぼた落ちる滴に病室のほのかな光が当たってきらきらして、思わず冬の夜空の月を連想したのでしょうか。病院の夜は静かに更けていきます。いつか病室を出て本当の冬の月を見上げる日 pensando。冬の月は、澄み渡った大気の中で輪郭もきっぱりと見える研ぎ澄まされた月です。



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前・図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。どなたでも気軽に投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

2句セットで味わいたい俳句

入選 吾が胃には最後追難の豆をかむ
癌を連れ吾が胃は逝けり今朝の春

(島爺爺さん 78歳・男性)

追難(ついな)とは鬼を払う儀式。鬼を払うために節分で豆まきをしますが、その豆を食べるのは最後だと。次の句を拝見しますと、癌をつれて我が胃は逝ってしまった、そんな立春の朝なのだ。鬼を払うとは、胃を摘出しがんを追い払うこと、季節は節分(冬)から今朝の春(春)へと変わった、私にようやく春がきた、という意味をこめられているのでしょうか。季語の力や本意を十分に生かした連作になりました。

入選 年の瀬やまたまたがんに惚れらるる
新しきがんと連れ立ち初詣

(K.Wさん 76歳・男性)

再発という本当はつらいはずの出来事を、ユーモアたっぷりの俳句に仕立てました。がんを擬人化することで、がんを人生のパートナーのようにとらえ、ポジティブな発想に転換出来るのだと感心しました。本当は気がかりな年末年始を過ごされたことと拝察します。パートナーが、今度は卒業、決別、あるいは一人旅などを目指してくれたいいなと、願っています。

家族への思いがあふれています

入選 ママ帰ろ5才の娘目に涙 (ママさん 37歳・女性)

がんセンター俳句ポストに投函された一句だと思つと、胸がぎゅっと締め付けられます。事情がわからない5歳の娘さんの純粋な言葉、帰りたいけど帰れないママさんの気持ち、そしてご家族の気持ち。早く娘さんとともにおうちに帰れる日が来ることを祈らずにはいられません。

固有名詞の入った俳句

入選 ひゅうが水木待ち受け四国がんセンター

(花天さん 77歳・男性)

入選 たくさんのえがおうまれるがんセンター

(H.Tさん 27歳・男性)

入選 おかあさん四国がんセンターでがんばるよ

(K.Iさん 9歳・女子)

がんセンターという固有名詞を詠み込んだ3句。日向水木という可憐な花は植木として育てられ来院者を和ませてくれるのでしょうか。たくさんの思いや事情を飲み込んで、けれどもこの四国がんセンターにはたくさんの希望があることがわかります。



お知らせ

いつも四国がんセンターニュースをご愛読頂きありがとうございます。ニュースの定期発送をご希望の方は、広報活動委員までご連絡ください。

■ご連絡方法… ●電話:089-999-1111(代表) ●FAX:089-999-1100

なお、既に定期発送させて頂いている方で、発送が必要でない場合はご一報頂きますようお願い申し上げます。

ご意見箱設置



当院では、中央待合ホールや各病棟にご意見箱を設置しております。皆さんからいただいた当院への貴重なご意見、ご感想は職員一同、真摯に受け止め、患者さんの立場に立った、よりよい療養生活、療養環境に貢献できますよう改善に努めて参りたいと考えております。今後とも当院に対するご意見等がございましたらご遠慮なくお寄せください。(氏名・病棟名は無記名でも結構です。)

皆さんからのご意見、ご感想に対する回答は、2階患者さん用エレベーター横の掲示板に掲示させていただきます。

標語の紹介

- 4月 あいさつは 笑顔と元気 忘れずに
- 5月 理念を胸に 優しさといたわりを
- 6月 笑顔で挨拶 報連相

1日平均患者数

	29年度	30年度(4月~2月末)
入院	262.2	264.0
外来	474.1	479.4

手術・化学療法・PET-CT件数 ※ ()内は1日平均件数

	29年度	30年度(4月~2月末)
手術	2,004 (8.3)	1,787 (8.0)
外来化学療法	8,522(34.9)	8,207(36.6)
PET-CT	4,314(17.6)	4,237(18.9)

ご意見、ご感想等ありましたら、広報活動委員までお寄せください。

■広報活動委員…

河村 進(委員長)・上甲 尚史・橋根 勝義・頼本 真一・向井敬浩・高市 瑞穂(ボランティア)

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております



「松山城」撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

●新患受付時間 7:30~12:00
●診療時間 8:30~17:15
休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります
のでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280
愛媛県松山市南梅本甲160
TEL:089-999-1111
FAX:089-999-1100
https://shikoku-cc.hosp.go.jp

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

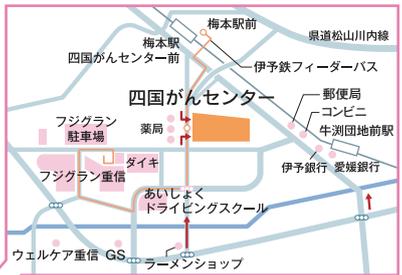
- | | |
|-----------|--------------|
| 呼吸器内科 | 乳腺外科 |
| 呼吸器外科 | 婦人科 |
| 消化器内科 | 頭頸科・甲状腺腫瘍科 |
| 消化器外科 | 骨軟部腫瘍・整形外科 |
| 精神腫瘍科 | 形成・再建・皮膚腫瘍外科 |
| 緩和ケア内科 | リハビリテーション科 |
| ストーマ外来 | リンパ浮腫 |
| 禁煙外来 | 放射線診断科 |
| 泌尿器科 | 放射線治療科 |
| 血液腫瘍内科 | 病理診断科 |
| 感染症・腫瘍内科 | 歯科 |
| セカンドオピニオン | 麻酔科・疼痛外来 |
| 遺伝性がん診療科 | がんドック |
| がん看護外来 | 原発不明がん診療科 |

病床数 368床

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化) 西出(内)	仁科(化)	仁科(化) 堀(内)	梶原(化) 日野(化)	中舎(化)
		肝・胆・膵	灘野	浅木	寺尾	灘野 長谷部	
	外科	食道・胃		羽藤		野崎/香川	
		大腸	小林	落合		予★小島	予★落合/★小島
呼吸器	内科	肝・胆・膵		大田		御厨	
		内科新患	○原田 ○上月	野上	○野上	上月	原田
	外科	禁煙外来	山下(素)	上野	末久	山下(素) ○末久	野上 牧
		緩和ケア・精神腫瘍科	三浦(緩和)	谷水(緩和)	成本(緩和)	落合(緩和・精神)	三好(緩和) 予★大中(緩和)
泌尿器科		○橋根 ○冨田 ○角田		橋根 ○松村 ○井内		○角田 ○井内 ○角田	
	血液腫瘍内科		吉田		吉田		
	感染症・腫瘍内科	○濱田			○濱田		
婦人科		竹原/坂井 友野 横山	予 婦人科医師	竹原 大亀 藤本	予 婦人科医師	大亀/藤本 坂井 横山/友野	
	乳腺外科	青儀 高嶋	大住 高橋	高橋	青儀 高嶋	大住 三好	
			○三好				
		形成外科	○山下(昌)	○山下(昌)	○河村		○藤山
皮膚科		○藤山 門田	△藤山 ○担当医	藤山 門田	○担当医	岸野 橋本 秋定	
	頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)	橋本/秋定 林		岸野 林		橋本 秋定	
骨軟部腫瘍・整形外科		○杉原 ○清野		○杉原 ○清野	△杉原 清野	○杉原 ○清野	
	放射線	診断科	菅原	桐山	清水	菅原	細川
治療新患		片岡	片岡	神崎	上津	上津	
治療科		神崎	神崎	上津	神崎	★片岡/★神崎 ★神崎/★片岡	
		上津	上津	片岡	片岡	★小島/★落合 △清藤	
予 ストーマ 外来	小林		橋根	小島	△清藤		
予 リンパ浮腫 外来		○河村		○山下(昌)			
リンパ浮腫 ケア 外来		リンパ浮腫ケア(自費)			リンパ浮腫ケア(自費)		
予 麻酔/疼痛 外来		武智/正岡(隔週)			予 首藤		
原発不明がん診療科		△青儀					
予 セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
予 がんゲノム医療 外来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
予 遺伝性がん診療科	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来		
がんドック	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井		
	日野	治療内視鏡	日野	坂口	寺尾		
	堀	治療内視鏡	西出	西出	堀		
内視鏡生理検査	長谷部	治療内視鏡	長谷部	長谷部	西出		

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でのお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
■JR松山駅から車で 約30分
■松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
■松山インターから車で 約20分
■川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

